

## ●最低制限価格の計算方法

下記の①と②の合計額が最低制限価格となります。

### ①設計業務委託分

- 入札参加者が5者未満（4者以下）の場合  
予定価格に100分の70を乗じて得た額（注意1）
- 入札参加者が5者以上の場合  
有効札（予定価格に100分の70を乗じて得た額（注意1）以上、かつ予定価格以下で入札した札）の平均額（注意2）に100分の80を乗じて得た額（注意1）、または予定価格に100分の70を乗じて得た額（注意1）のいずれか高い方

（注意1）1円未満の端数切り上げ

（注意2）1円未満の端数切り捨て

### ②建設工事分

予定価格算出の基礎となった以下のア～エの合計額。ただし、その額が、予定価格に100分の92を乗じて得た額を超える場合は予定価格に100分の92を乗じて得た額（注意3）とし、予定価格に100分の75を乗じて得た額に満たない場合は予定価格に100分の75を乗じて得た額（注意4）とします。

- ア.直接工事費に100分の97を乗じて得た額（注意3）
- イ.共通仮設費に100分の90を乗じて得た額（注意3）
- ウ.現場管理費に100分の90を乗じて得た額（注意3）
- エ.一般管理費等に100分の68を乗じて得た額（注意3）

（注意3）1円未満の端数切り捨て

（注意4）1円未満の端数切り上げ

## ●最低制限価格の算出例

### ①設計業務委託分

設計業務委託分の予定価格：10,000,000円

【入札参加者が5者以上の場合】

応札者名		入札金額見積内訳書のうち設計の業務価格（設計）の額
1	A者	6,300,000円
2	B者	7,900,000円
3	C者	8,900,000円
4	D者	9,800,000円
5	E者	9,900,000円
6	F者	9,990,000円
7	G者	10,000,000円
8	H者	11,000,000円

計算手順

【手順1】 予定価格に100分の70を乗じて得た額を求める。

$10,000,000円 \times 70\% = 7,000,000円$ （1円未満の端数があった場合は切り上げ）

【手順2】 A者とH者を有効札（※）から除く。

有効札（※）… 予定価格に100分の70を乗じて得た額以上、かつ予定価格以下で入札をした札

【手順3】 平均額を算出

・ A者、H者を除いた有効札（B者～G者）の合計額を、業者数6で割る。

$56,490,000円 \div 6者 = 9,415,000円$ （1円未満の端数があった場合は切り捨て）

【手順4】 有効札の平均額に100分の80を乗じて得た額を求める。

・ 【手順3】で求めた平均額に100分の80を乗ずる。

$9,415,000円 \times 80\% = 7,532,000円$ （1円未満の端数があった場合は切り上げ）

【手順5】 最低制限価格を決定する。

・ 【手順1】と【手順4】で求めた額を比較して高い方を最低制限価格とする。

$7,532,000円 > 7,000,000円$

よって、設計業務委託分の最低制限価格は7,532,000円となる。

## ② 建設工事分

工事分の予定価格：100,000,000円

- ア. 直接工事費：50,000,000円
- イ. 共通仮設費：10,000,000円
- ウ. 現場管理費：20,000,000円
- エ. 一般管理費等：20,000,000円

計算手順

【手順1】ア～エのそれぞれの項目に所定の割合を乗じて、合計額を求める。

(1円未満の端数があった場合は切り捨て)

ア. 直接工事費  $50,000,000円 \times 97\% = 48,500,000円$

イ. 共通仮設費  $10,000,000円 \times 90\% = 9,000,000円$

ウ. 現場管理費  $20,000,000円 \times 90\% = 18,000,000円$

エ. 一般管理費等  $20,000,000円 \times 68\% = 13,600,000円$

$48,500,000円 + 9,000,000円 + 18,000,000円 + 13,600,000円 = 89,100,000円$

【手順2】予定価格に100分の92を乗じて得た額を求める。

$100,000,000円 \times 92\% = 92,000,000円$  (1円未満の端数があった場合は切り捨て)

【手順3】予定価格に100分の75を乗じて得た額を求める。

$100,000,000円 \times 75\% = 75,000,000円$  (1円未満の端数があった場合は切り上げ)

【手順4】ア～エの合計額、予定価格に100分の92を乗じて得た額、予定価格に100分の75を乗じて得た額を比較し、最低制限価格を決める。

$75,000,000円 < 89,100,000円 < 92,000,000円$

よって、建設工事分の最低制限価格は89,100,000円となる。

上記の①設計業務委託分 7,532,000円 + ②建設工事分 89,100,000円 = 96,632,000円

96,632,000円が最低制限価格となる。